



2015年冬季号(通巻100号)

発行:公益財団法人 豊川市国際交流協会

編集:ニュースレター部会

〒442-0878 豊川市新道町1丁目1-3 勤労福祉会館内

☎0533-83-1571 FAX0533-83-1581

(年4回 5・8・11・2月発行)

■ホームページアドレス <http://www.yui.or.jp/tia/>

■メールアドレス tia@yui.or.jp

1997年12月14日

市民クリスマス会

クリスマス会は、この前の年までは、ラングウエッジ部会が部会の行事として開催していました。英語圏を意識した発想だったと思われます。しかし、97年から協会の行事として格上げし、協会員以外にも広く市の広報でも参加者を募集して勤労福祉会館大研修ホールで盛大に行いました。参加者総数は153人でした。

当日のオープニングはジングルベルの合唱でした。続いて英語朗読劇の「かぐや姫」の上演がありました。ステージには月を投影するための大きな幕が張られ、その左右には本物の竹やぶが配置されました。バックミュージックは琴の演奏で、見事に人々をお伽の国に運んでいました。劇を担当したラングウエッジ部会員は11月から4回の猛練習を積んだそうです。次の休憩中には菓子やジュースが配られました。その間にサンタクロースの登場です。サンタクロースはトナカイの引くソリに乗っていました。後は、ゲームタイムで「イエス。ノー」クイズでした。会場を紐で2分して、イエスかノーで回答者は大騒ぎ。最後の出し物はハワイアンフラダンスでした。このフラダンスは事前から

大いに期待されており、拍手喝采でした。衣装を変えて何曲か踊った後、踊りの皆さんがステージから降りて、今度は全員で「ブルーハワイ」を踊りました。参加者全員が盛り上がったひとときでした。最後は「蛍の光」の合唱で会を閉じました。



フィナーレはハワイアンフラダンス。
途中から参加者も一緒に踊りました

協会では設立翌年から1月に新春交流会(94号で紹介)を開催してきましたが、12月にクリスマス会を開催するようになったのはこの年が最初でした。以後、99年には「フェスタ・ジ・フィナウ・ジ・アノ(ブラジルの年忘れパーティー)」と改名してブラジルをかなり意識した内容

になりました。02年には「年忘れワールドフェスティバル」と再度名が変わりました。現在は「ワールドフェスティバル」と改めています。

新春交流会は「和」を意識していましたが、この会は外国を取り込んだ、オープンな会にしたいと企画されています。参加者は広報活動にも努めた結果、昨年は500人前後に達し、次第に外国人も増えています。

TIAアーカイブス

ワールドフェスティバル 2014 World

平成26年11月2日（日）に、豊川市勤労福祉会館大研修ホールで世界の演芸大会等を開催し、500人を超える参加者がありました。



▲優勝したイワンさんは民族舞踊「BUJANG GANONG」で仮面をつけて見事なバック転を披露



▲玉澤さんの日本舞踊「豊の春」の艶やかさ



▲熊谷さんの歌「依然愛你」は心にしみ入りました



◀2位のサンバのマリヤ、ルマ、ピアンカ、ルイさん。軽快で、しかも情熱的にリズムで踊っていました

今回の来場者は500人を超え前回の300人よりも多く大盛況でした。今回は前回と違い4つの新たな取り組みがありました。①入場料が無料②豊川の国際交流パネル展③世界のおやつ販売コーナー④世界の民族衣装試着コーナーです。

世界の演芸大会は、歌に踊り、太極拳や民族舞踊と8チームの出演者が競い合いました。また、世界の演芸大会の結果発表までは、アコースティックベンチャーズバンド491やアトリエ、パチャママ、スペイン語部会のコラボレーションで会場を盛り上げてくれました。世界の演芸大会の結果発表後は、神輿かつぎと餅投げをしました。

民族衣装の試着コーナーでは、男性女性共に外国人には着物が大人気でした。一方で、日本人女性にはチェコの衣装や韓国のチマチョゴリが人気でした。

アンケートの中で、全体の感想として「演芸大会、試着コーナー、世界のおやつコーナー、餅投げ全て良かったです。皆さん楽しんでおられました」などと書かれていました。また、世界の演芸大会の感想では「皆、レベルが高く大変楽しめました、司会者の話術も素晴らしい」「ダンス、歌、太極拳とバラエティーに富んでいて楽しかった」「491、アトリエやパチャママとどれも素晴らしかった」などと書かれていました。

次回にむけての感想の中で、「みんなで踊ったり、しゃべったり、簡単なゲームをする時間があると楽しいと思う」との意見もありました。



◀世界のおやつ販売コーナー。ペルス、フランス、韓国、台湾、アフリカ。どこを選ぼうかなあ



株式会社 **ヒミカ**
〒441-8019
豊橋市花田町字荒木95番地
Tel: (0532) 31-0012
Fax: (0532) 31-0190
<http://www.himika.co.jp>

コンピュータのことなら、なんでもご相談下さい。

- LAN・ネットワーク構築 ハウジング・ホスティングシステム管理 受託計算 システム設計開発



Festival



▲最後は神輿と全員参加の餅投げで締めくくりました



◀カロリナ、アンドレア、イトウさんの歌とダンスの「Let it Go (ありのままに響きわたる声量でした)」



▲ニイハオ部会の鈴木、大内、辻村、原田、梁、村田、谷口さんの「楊名時太極拳」は息のあったチーム力を見せました



▲小川さんの「りんご村から」は小節のきいたはりのある歌でした



▲3位のニア、サラマ、ライリさんの歌「MANUKDADALI」は踊りを交えながら、トップバッターで会場を盛り上げてくれました

- *****プログラム*****
1. 開会式
 2. 世界の演芸大会(出場者8組)
 - ①チャントック(インドネシア)インドネシアの歌
 - ②玉澤 佐知(中国) 日本舞踊
 - ③インターナショナルガールズ(ブラジル、ルーマニア) 日本歌手の歌&ダンス
 - ④イワン セティオノ(インドネシア) 民族舞踊
 - ⑤小川 伯男(ブラジル) 演歌
 - ⑥SANBA SHOW(ブラジル) サンバ
 - ⑦ニイハオ部会(中国・日本) 太極拳
 - ⑧熊谷 修良(日本) 中国歌手の歌
 3. アコースティックベンチャーズバンド491
 4. アトリエ、パチャママ、スペイン語文化部会のコラボレーション
 5. 世界の演芸大会 結果発表
 6. 国際交流餅投げ
 7. 閉会式



▲世界の民族衣装を着てハイチーズ!



▶491、アトリエ、パチャママ、スペイン語文化部会のコラボレーション



刺身・海鮮炭焼・寿司
北海道

～各種宴会・法事・慶事～ 個室50名(宴会最大86名)

〒442-0823 豊川市正岡町流田508 ランチ 11:30～15:00(L014:00)
 ご予約電話 0533-80-7077 夜 17:00～22:30(L022:00)
 HP: <http://r.gnavi.co.jp/n593700/> 定休日 土曜日

村松書店

〒442-0041 豊川市旭町6番地
 TEL (0533) 86-3810
 FAX (0533) 86-2682
 E-mail add.
 mbooks@ccnet-ai.ne.jp

JENESYS 2.0 メディア第七陣のフィリピン研修生を協会が受け入れ

昨年12月5日～7日に掛けてJENESYS 2.0プログラムの大学生と引率者30人のホームステイを協会が受け入れました。14人のお宅にホストファミリーをお願いしました。その1人に感想文を寄せてもらいました。

フィリピンの研修生を受け入れて感じたこと

豊橋市中郷町 五十嵐一貴

今回、フィリピンから来た3人の研修生をホストして感じたことは「フィリピンに行って、また、彼女たちに会いたい」ということです。我が家にホームステイしていただいたのは、ジュリエさんとシェリザドさんとクリスチーナさんの3人です。彼女達と出会えたことを、家内も娘(2歳)も私もとても感謝しています。

彼女たちとの3日間は、あっという間でしたが充実していました。日本に来て雪を見たがっていた彼女たちを連れて、何の根拠もなく雪国というイメージだけで、岐阜県へ行ってきました。そこで見たものは、なんと雪でした。今年度の初雪の日でした。すごくラッキーな出来事だと思いました。その日は、美濃市の昭和村へ行ったり、土岐アウトレットに行ったり、家内の友人宅へ突然訪問してジエンガで盛り上がりたり、豊川市の日本語教室に行ったりと大忙しでした。しかし嫌な顔一つせず、一緒に楽しく過ごしてくれました。その上、夜は、家内を交えて女子会が盛大に行われました。彼女たちのこと、フィリピンのこと、大学のこと、将来のことなど、色々なことを話しました。3日目の朝、彼女達は自発的に家事のお手伝いしてくれました。今まで色々な国の方をホストしてきましたが、初めての経験でした。彼女達は、常にホストファミリーの私たちと時間を共にしてくれました。これは簡単そうで、実はすごく難しいことです。私も以前、海外でホームステイをしたことがあるのでわかりますが、言葉が通じない人と長時間一緒にいることは、非常に神経を使います。自分の部屋にこもることは



五十嵐さん一家(左側)と研修生の皆さん

簡単にできますし、2泊3日の短期では大抵の人が自分の部屋にこもると思います。しかし彼女たちは違いました。常に私達と行動を共にし、一緒にいる時間を大切にしてくれました。そういう些細なことが私たち家族との距離をぐっと縮めたのだと考えます。その証拠に娘は、手をつないで歩くことも、着替えも、食事もすべて「おねえちゃんがいい」と両親に頼ることなく彼女たちを頼りにするほど、べったりなつきました。ちょっとさみしかったです。未だに写真を見せれば、「おねえちゃんだあ」と笑顔を浮かべます。だから、娘が将来海外留学でホームステイをするときは、彼女たちのように大切な時間を大切な人と共有できるようになってほしいと願います。今回、私たちも一期一会の本当の意味について、身をもって体験することができました。大切な人と時間を共有することは、相手に一番満足感を与えることができるのではないかと思います。また、それがホスピタリティーではないかと思いました。彼女達にとって、ホスピタリティーの心は一期一会と同じことなのではないでしょうか。彼女達を見ていて「フィリピンの方々のホスピタリティーはすごい」と言われる理由がわかったような気がします。

JENESYS 2.0プログラムとは？

2007年から5年間、外務省から日本国際協力センターが受託して実施したJENESYS (Japan-East Asia Network of Exchange for Student and Youth (21世紀東アジア青少年大交流計画)) Programの後継事業。日本経済の再生に向けて、日本に対する関心を増進させ、訪日外国人の増加を図るとともに、クール・ジャパンを含めた日本の強みや魅力等を発信させることを目指している。

ワイ!ワイ!ポイントカード Wai! Wai! Point Card 会員大募集!!

J Aひまわりの事業利用でポイントを貯めて、値引きや商品交換に使おう!
入会のお手続きは、J Aひまわり各店舗まで! (グリーンセンター・Aコープ・金融店舗など)

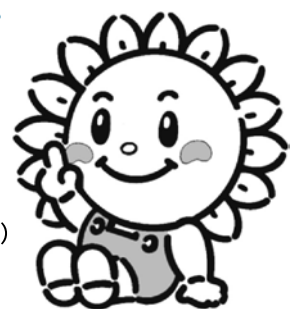
ひと・夢いいね。
 JAひまわり

お問
合せ先

本店 企画課 豊川市諏訪1-1
☎85・3171

JAひまわり

検索



日本語教室芋掘り遠足

日本語教室の第2回課外活動として11月16日(日)豊川市千両町のさつま芋畑で芋掘り体験をしました。参加者は生徒20人とボランティアも入れ総勢30人程でした。他にも豊川信用金庫の人たちも10人くらい助っ人で来てくれました。

日本語教室部会長の話によりますと、この企画は、藤田慎さんという、千両会「さつま芋で町おこし」の代表



から協会の佐津川常務を経て話がありました。藤田さんは他の会員の人たちと一緒にさつま芋を育てて、収穫の秋に学校の生徒などと呼んで芋掘り体験してもらおう活動をしておられます。

藤田さんは、他に日本ボーイスカウト愛知連盟の鈴木和義さんの力もお借りしました。ボーイスカウトOBの人たちは、焼き芋、キノコ汁の炭火おこしから調理器具の調達、ブルーシートの用意を殆どやってくれました。また、消防本部から災害救助用のα米(キノコご飯)50食と命の水80本をいただきました。

当日は曇り空でしたが雨はなく、楽しく芋掘りができました。収穫した芋は一人5~6本位ずつお土産として持って帰ってもらいました。前に収穫してあった物を焼き芋にして食べました。その他、イスラム教の人への配慮から肉の入らないキノコ汁を作り、炊き出し用のキノコご飯と共にいただきました。部会長も芋掘りが初めての経験でその後10日程おいてから焼いて食べた芋は本当に美味しかった、とのことでした。

折り紙交流会

ウイズ豊川で1月18日(日)午後1時~3時30分まで、日本語教室の課外授業の一つとして、日本文化紹介部会の人たちが折り紙交流会を行いました。参加者は46人(日本語教室の生徒、家族、友達、先生)で、色紙で箱(くずかご、プレゼント入れなどに使える)を作ったあと、抹茶を飲む時の作法を簡単に紹介しました。

国際理解講演会「オペラ椿姫のお菓子と音楽」



12月7日(日)午後2時からブリオビル4F視聴覚室でチェコ部会員の犬須賀興雄ケネス先生(オペラ演出家の顔を持つ国際派理学博士)の講演会を開催しました。参加者は50人でした。

音楽の話から、日本人・日本の国際化について分かりやすくお話しされました。オペラ「椿姫」のモデルになった女性の生い立ちやその女性が好きだった、オペラ「椿姫」の中にも出てくる、スイーツ(レーズン・グラッセ)を試食しました。先生が当時のままの作り方を苦労して調べたものを、先生と協会事務局員が再現しました。それはブドウに卵白でグラニュー糖を付けたもので、たいへん上品な味でした。先生は「まずは異なった文化を持つ人々と広くお付き合いをすること。そして日本人の考え方、感じ方、ものの見方が、どちらかと言うと世界の多くの文化と異なることを身をもって知ることが、国際的になる第一歩」と話されました。



手作りです!

ラテンアメリカ部会期末交流会

ラテンアメリカ部会のメンバーが日頃のスペイン語の勉強の成果発表を兼ねて、12月21日(日)の午後2時30分~5時30分、期末交流会を行いました。約50人が集まりました。

パチャママの演奏、アトリエの踊りの後、入門と初級クラスがスペイン語のお芝居「マッチ売りの少女」、上級クラスが「クリスマス」を上演、カナスタ(南米でよくやる、当たった人にかごに入った食品の詰め合わせをプレゼントする)と言うくじ引き大会を行いました。パネトンとココアのセットを食し、新しいリーダーの発表もありました。



行政書士小柳津えみ事務所
Administrative Documentation Attorney
Despachante Credenciada

入管手続・国籍関係手続

Immigration Procedures
Nationality Procedures

Procedimentos de Imigração
Procedimentos Relativos
à Nacionalidade

〒440-0043
豊橋市朝丘町132番地
すこやかプラザ2階203号室
TEL 0532-43-6519
FAX 0532-43-6529
E-mail emi@fb3.so-net.ne.jp

プラス・ワンからはじまる可能性。

共和印刷株式会社

本社 ● 〒441-8042 豊橋市小池町36番地の1
tel.0532・46・3281 fax.0532・46・3285

第5回豊川市日本語スピーチコンテスト・ 第5回東三河日本語スピーチコンテストを開催しました



昨年11月2日(日)午前9時30分から11時30分まで豊川市勤労福祉会館視聴覚室にて、豊川市と豊川市教育委員会の後援を得て、第5回目となる豊川市日本語スピーチコンテストを開催しました。日本語を母語としない市内在住の外国人の方を対象とし、小・中学生の部が3分以内、高校生以上一般の部が5分以内で、自由なテーマでスピーチをしました。小・中学生の部に2人、高校生以上一般の部に9人の出場があり、従事者を含めて参加者は63人でした。

<豊川市国際交流協会会長賞>



重光 ルマさん
千両小学校6年 ブラジル
「人と人をつなぐ それはサンバ！」



楊 莎莎さん
研修生 中国
「言葉という橋」

<豊川市長賞>



トバル ミエコさん
千両小学校6年 ブラジル
「日本の学校でがんばります！」



プラムディヤ ファジャル エコ
ヌルチャーヨさん
技能実習生 インドネシア
「日本人の“うまい”言葉」

<豊川市教育委員会賞>



リスキ エディ プラタマさん
技能実習生 インドネシア
「日本の漫画は
私のインスピレーション」

前半の小・中学生の部は小学生2人だけの出場で、残念ながら中学生の参加はありませんでした。スピーチをした2人とも日本での生活が長いので、発音や話し方は日本人の小学生と変わりませんでした。定住外国人の子という視点から、学校生活や人との繋がりについて発表しました。

後半の高校生以上一般の部の参加者9人のうち8人がインドネシアからの技能実習生で、これだけ多くのインドネシア人の参加があったのは初めてのことでした。日本語そのものや日本に来たきっかけ、日本で暮らしてみても感じたことなどをテーマに選び、来日して1年足らずの人でも精一杯の日本語を駆使して自分の思いを語りました。入賞したみなさんの氏名、国籍、テーマは右のとおりです。

入賞した5人は1月25日(日)に田原文化会館文化ホールで開かれた第5回東三河日本語スピーチコンテストに出場しました。東三河5市(豊橋、豊川、蒲郡、新城、田原)から選抜された25人が参加し、審査の結果5人とも努力賞を受賞しました。豊川市でのコンテストの後、それぞれがたくさんの練習を重ねてさらに上手になったスピーチを精一杯披露しましたが、今回は他の参加者のレベルがとても高かったため、残念ながら上位3位までには入賞できませんでした。でも全員にとってたいへん良い経験になったことでしょうか。これからも機会があればどんどんチャレンジしてってもらいたいと思います。そして今後もっと多くの外国人のみなさんが参加してくれることを期待しています。

パティスリー

ラ・プティ・メゾン

PÂTISSERIE LA PETITE MAISON

TEL : 0533-65-8088
豊川市八幡町鐘鋳場180
●営業時間/AM8:30~PM7:00
●定休日/月曜日

日立製作所

インドカレーと焼きたてナンのお店

BANDANA

INDIAN RESTAURANT

http://www.sinbandana.com/
パーティー等のオードブルも承っております。お気軽にご相談下さい。
ご注文は TEL (0533) 83-3353 まで!!

営業時間 AM11:00~PM 3:00 (オーダーストップ PM2:30)
PM 5:00~PM10:00 (オーダーストップ PM9:30)

豊川市桜木通6-13 水曜定休(祝日の場合は営業)



青年海外協力隊体験記

西アフリカのおもてなしの国 セネガルでの体験記②

蔵子5丁目 堀内 悠里

アッサラーマライクム！前は私のセネガルでの活動について書きましたが、今回はセネガル人のおもてなし精神「テランガ」について紹介しようと思います。セネガルはイスラム教徒が約95%を占める国です。彼らは余裕のある人は、貧しい人や困っている人を助けるという精神をもっています。それがテランガにつながっているのかと思います。

1、一度会ったら友だち

セネガル人の挨拶はとても長いです。そして知らない人ともします。「こんにちは。元気？」「名前は何？」「どこから来たの？」から、「お父さんは元気？」「お母さんは？」「兄弟は？」と家族のこと、「よく寝れた？」「朝はいい調子？」など体のことなど、いろんなことを握手しながらたくさん話します。出会う人とこんな感じなので、50m歩くだけで、5分、10分かかることもあります。そんなわけだから、友だちなんてすぐできます。

さて、そんなある日、首都に上がり、街を歩いていると物売りが寄ってきていつものように挨拶を交わし、「このスカーフいかしてるだろ？安くしてあげるから買いなよ！」と言ってきました。私はお金がギリギリで断るのも面倒だったので「お金がなくてルーガの家まで帰れないかもしれないのに買えないよ」と言うと、「それは大変だよ、友だち！僕も今はないけど、銀行に少し預けてあるから待ってな」と銀行に行こうとします。あわてて「なんとかなるから大丈夫！」と止めたものの、お金がない彼からのその言葉にまたテランガを感じてしまったのです。

2、毎日会ったら家族

お昼ご飯は基本的にルーガの家族と一緒にです。家族と言ってもたまたま隣に住んでいた家族にいつもお昼ご飯を呼ばれて行くようになったら、家族になりました。ママは毎日大量のご飯を作ります。家族、近所の警備員、そして「タリベ」と呼ばれる物乞いをしながらコーラン学校に通う子どもたちの分などです。料理は大皿でで

きます。後から来たお客さんや困っている人、誰が来てもし一緒に食べられるようにだと言います。私が村の小学校に行くなどして、ご飯を食べに行けないと、夕方、ママは我が家まで来て怒った口調で言います。「私たちを放っとく気なのね！」でも手にはご飯を持って。彼らにとって、一人遠い国で働く私は「困っている人」の一人としてとても大切に扱ってくれます。自炊をほとんどせずに、活動に専念できたのは、本当に彼らのおかげでしょう。



大好きな家族と

3、心のテランガ

セネガル人は思っていることをそのまま言います。私も何度も「お前は言葉わかんないんだな！」と言われました。悪意がないことは分かるけれど、日本人として生まれた私にはなかなか厳しい言葉です。活動でこんなことがありました。ある先生はなかなか協力してくれませんでした。私が来る曜日にはわざと学校に遅れてきて、私が一人で授業することもよくありました。普段、鞭で扱われている子どもたちが、鞭を持たない、現地語の不十分な私の指示などすぐに聞いてくれるはずありません。そして先生がやってきてこう言いました。「この日本人は全然ウォロフ語がわかってない」私は家に帰って、準備した教材を見ながら悔しくて泣きました。それを知った近所のセネガル人が次の日、急に学校に現れて、その先生にこう言ったのです。「僕は彼女の友だちだ。彼女はとても立派だよ。いつも夜中まで授業の準備をしているんだ」平和主義のセネガル人は相手を責めずにそれだけ言いました。その後、その先生は、前よりも一緒に授業に参加してくれるようになったのです。

セネガルのテランガは、食べ物やお金だけではなく、心でもてなしてくれるのです。日本から遠く離れたアフリカにも、日本のような「おもてなし」の心をもった国があることを知っててもらえたらうれしいです。

思い出に残る **旅** ご提案します

個人旅行 国内旅行 団体旅行 海外旅行

グループ旅行 団体旅行 御見積り無料!!

株式会社 トラベル東海

本社 営業所 TEL.0533-84-7115
豊鉄本野町/入停留前 営業時間10時~18時(日・祝休み)

趣味の民芸・土産・造花フラワー店

(株) 林電工

恋のれん結び堂

造花フラワー師範 林 叔子

〒442-0027 豊川市桜木通5丁目1番地 ☎(0533)85-9977

「We」100号を迎えて

公益財団法人 豊川市国際交流協会会長
石川 則男

本号で「We」発刊100号を迎え、大変嬉しく思います。

「We」は機関誌として、協会の活動や国際事情などをお伝えしております。

これもひとえに協会会員の皆様のご支援、ニュースレター一部会をはじめとするボランティアの皆様の深いご理解とご尽力によるものと、改めて感謝申し上げます。

大変つたない文章でお恥ずかしい限りですが、93～96号にて私の海外での経験談を掲載させていただきました。21年余りの海外生活の中での経験、出会いや文化など、今では全てが財産になっております。

会員の皆様、特に若い世代の皆様、一人でも多くの方に海外へ羽ばたいていただき、色々な経験をしていただきたいと思います。

豊川市国際交流協会の日々の活動や機関誌「We」がきっかけになれば、幸いです。

会員やボランティアの皆様の今後のご活躍と「We」のますますの内容充実を祈願し、100号にあたってのお礼の言葉とさせていただきます。



INFORMATION

●文化講座「フランスってどんな国」 受講者募集

- 日時** 2月21日(土) 午後1時30分～3時30分
場所 とよかわボランティア・市民活動センター
プリオ視聴覚室(プリオビル4階)
講師 久保田アナイスさん
内容 フランス南西部の街・ピアリッツ出身の講師にフランスの文化や習慣を紹介していただきます。
定員 60人
受講料 会員300円、一般500円
申込み 2月2日(月)から電話で事務局へ。

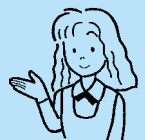
●日本語ボランティア養成講座 受講者募集

- 日時** 2月15日(日)、3月8日(日)、両日とも
午後1時30分～4時30分
場所 とよかわボランティア・市民活動センター
プリオ視聴覚室(プリオビル4階)
講師 愛知県立大学講師、東海日本語ネットワーク
副代表 米勢(よねせ) 治子さん
内容 「外国の方に日本語を教える」とは何をするのか?そのための具体的な方法を2回コースで考えます。
定員 50人
受講料 会員無料、一般500円
申込み 先着順に電話で受け付けています。

*** 賛助会員を募集しています ***

協会では、年間を通じて賛助会員を募集しています。私たちと一緒に部会や各種イベントに参加し、国際交流を楽しんでみませんか。賛助会員になると、有料講座の受講料やイベントの参加費用の割引、協賛店での割引サービスなども受けられます。

会員の種類と会費	
個人会員	年間 1口 3,000円
家族会員	年間 1口 5,000円
団体会員	年間 1口 10,000円
終身会員(一生涯)	1口 30,000円



豊かなくらしのお手伝い



豊川信用金庫

本店 豊川市末広通3丁目34番地の1 ☎(0533)89-1151(代)